

空調⑩ 換気量を削減して空調負荷を低減！

◆ 老人ホーム(延床面積 4,000㎡)の事例

夜間・休日の無人の状態でも換気扇を使用している。(CO₂濃度500~600ppm)

24時間年中、必要以上に稼動している排気ファンを一部停止させ、換気量を抑制させると… (CO₂濃度 600ppmを800ppm程度に調整する。)



CO₂メーター

- ★ 年間 57,413kWh の省エネ！ (電力)
- ★ 年間 96.2万円 のコスト削減！
- ★ 投資 0円！



省エネのポイント！

過剰な換気により、冷暖房による冷気や暖気がムダに放出され、エネルギー損失が生じます。

建築物環境衛生管理基準(CO₂濃度1,000ppm以下)を超過しない範囲で、換気量を調整してください。

削減効果	57,413kWh/年 = 18,857kWh/年(暖房負荷削減量) + 38,556kWh/年(冷房負荷削減量)
削減額	962,242円/年 = 57,413kWh/年 × 16.76円/kWh
CO ₂ 削減量	20.8tCO ₂ /年 = 57,413kWh/年 × 0.362tCO ₂ /千kWh ÷ 1,000

(補足) 新型コロナウイルス感染症対策で換気が重要視されていますので、建築物環境衛生管理基準(CO₂濃度1,000ppm以下)を超過しないことを考慮して換気量を調整してください。

また、室内空気中のホルムアルデヒド(基準0.1 mg/m³(=0.08 ppm)以下)等の化学物質濃度や臭気にも問題ないことをご確認の上、実施してください。